

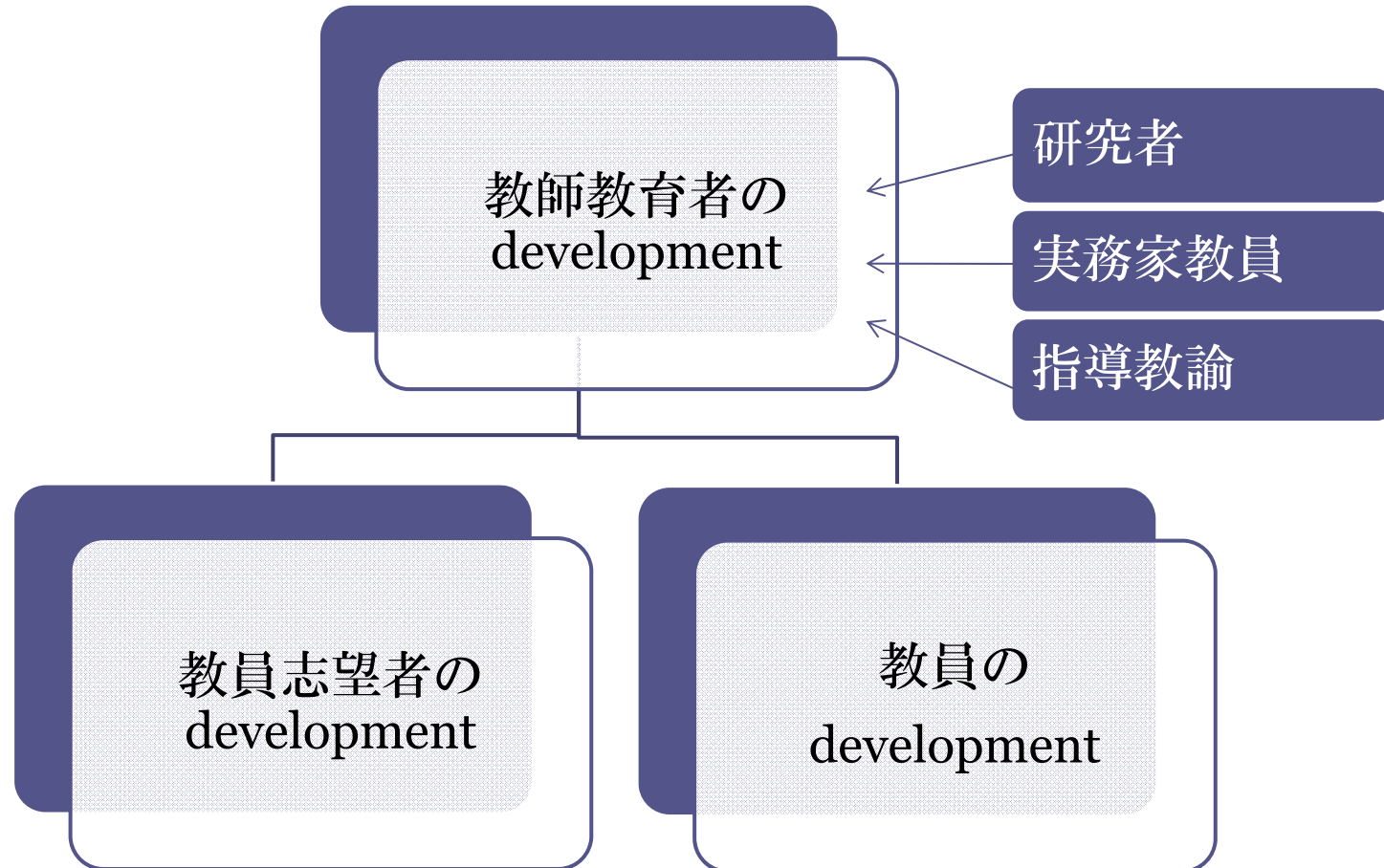
日本の教師教育の課題

3つの教師教育の視点から

教師教育学研究会

2010.2.26. 武田信子

3種類の教師教育



教員としての連続的キャリア形成

これからの日本の教育には どんな教員(集団)が必要か？

それをだれが決めるのか

- 生徒・教師・保護者・中教審・教育委員会大学教員・退職校長・政治家・一般市民
- キーコンピテンシー+？ ・スタンダード？

どのように育てるのか(それぞれの意義と役割)

- 大学教育？大学院教育？養成系・開放制(私立・国公立)・教育学部・一般大学・教職センター

今の課題は何か？

- 未曾有の発展を遂げたグローバルな21世紀に生きる日本の子どもたちを育てるために
- 課題にどう手をつけるか



教員養成の課題

教員養成課程+αの議論の前に 確認したいこと

問題となっている学生は、どこに、なぜ存在しているのか？

問題となっている養成課程は、どこに、なぜ存在しているのか？

養成課程の改善や学生の成長の阻害要因は何か？



- それらの阻害要因を取り除くために、何かなされるべきか？

+αは効果的か？

教育者として
の力

学問の専門性

学ぶ力・振り返る力

社会性・生きる力・対人関係力

基本的信頼感・人権感覚

教員志望者のDevelopment：パターン例と課題

	学生	教員志望	学力 資質	養成教育 教職/実践/試験	教科/ 試験	免許 取得	就職	就職 後	課題など		
一般・養成	A	○	◎	◎	◎	◎	—	○	○	○	望ましい状態
一般大学	B	×	◎	◎ 180単位	◎	△	—	○	×	—	ストック要員
一般大学	C	×	○	○	△	△	○	○	○	○×	デモシカ教員
一般大学	D	○	○	○	×	×	○	○	○	△	即戦力不足
養成系	E	○	○	△ 124単位	○	○	○	○	○	△	専門性不足
一般・養成	F	△	×	◎	◎	◎	○	○	○	○	教員養成の成功
一般・養成	G	○	×	○	○	○	◎	○	○	×	受験対策の成功
一般大学	G	○	×	△	△	△	△	○	○	×	採用の問題
養成系	H	△	×	△	△	△	○	○	○	×	採用の問題
一般・養成	I	×	×	×	×	×	○	○	×	—	実習公害

教員養成教育の促進要因

(大学全入時代) 学生の基礎学力・コミュニケーション能力・体験不足への対応

自律的なカリキュラム
マネジメントの必要性

一般大学・養成系
多彩な養成教育の
それぞれの課題整理

教員免許に
対する
認識の転換

養成教育に対する
価値認識の転換

現場と大学との
コラボレーション促進

大学教員間(専門と教職)の
コミュニケーション促進

理論と実践の融合と
リフレクション方法の確立

教師教育者の開発と
採用の見直し

教員養成教育の促進要因：大学教員養成改革

～多彩な養成教育のそれぞれの課題整理の上で

教育実践 演習導入

- 出口管理でない自律的カリキュラムマネジメントの必要性

教員養成カリキュラム 委員会設置

- 養成教育に対する大学教員の認識転換
- 大学全体で支える教員養成

大学教員コ ミュニティ

- 大学教員間のコミュニケーション促進
- 教科専門と教職専門のチームワーク

教員養成教育の促進要因 ：学生の学士力の向上

基礎学力

- 入学時点の学力不足への対応
- 他職種選択の可能性

社会性

- 幅広い経験の付与・推奨
- 他職種選択の可能性

教職の 理解

- 現場体験
- 狭い教員イメージの拡大

教員養成教育の促進要因 ：理論と実践の融合

現場と大学の
連携・協働

- 学校現場・教育委員会と大学
- 大学教員と現場教員の協働

省察の方法の確立

- リアリスティック・アプローチ
- 教師教育者のトレーニング

授業方法の転換

- 学生主体の教授法開発
- 大学と現場の往還の仕組み

教員養成教育の促進要因 ： 教師教育者の開発

教師教育者の
資質・力

- 採用時点で何が必要か？
- 教師教育者の養成は？

教師教育者の
トレーナー養成

- 日本各地で公募した少人数の合宿研修（2011夏）

教師教育者の
養成

- ⇒理論と実践をつなぐ教師教育者のトレーニングの開始

教員志望者のdevelopment: 熟議カケアイより

教員養成に関するまとめのまとめ資料参照

改革のグランドデザイン
教員志望者に求められる資質・力
大学の「学問の専門性」と「実践力」
初任教員を取り巻く学校環境の変化
教職課程の抱える問題
教育実習等による実践力向上のあり方
免許制度の見直し
養成期間の見直し
教員になるルートの多様化
教員採用
諸外国の教員養成



教員研修の課題

教員のdevelopment: 熟議カケアイより

教員研修に関する
まとめのまとめ資料参照

カリキュラム等の見直し
サポートのあり方
内容や方法・担い手・開発
研修の選択権

現在の課題：更新講習・初任者支援

学校コミュニティの開発 (参考)

- 当事者である教員が学校単位で、研修を進めていけるコミュニティの組織化・開発の試み

→2011年度 ビーバープロジェクトの実施

(教師教育学研究会による文部科学省科学研究)



教師教育者の課題

教師教育者の資質が問われていない

大学教員なら
学生指導できる

優秀な現場教員
経験者なら
指導できる

こういう人
もいるかも。

生徒の主体性の大切さについて1時間以上「講義」...
学生は居眠り

現場教員なら
実習指導できる

省察という名の
雑談と説諭

指導教諭はボランティア
ほめて叱って励ましておこう

教師教育者のdevelopment: パターン例と課題

大学教員・ 研究者

- 理論+研究
- 採用時、必ずしも教師教育、学生の発達、学校現場等について学んでいない
- ↓
- 独学の試行錯誤
- 理論と実践の融合について学んでいない
- 理論の一方的伝達型授業で、時に現場の実態/子どもたちの発達に即していない。
- 自らの授業研究の機会がない。

実務家教員・ 研修指導者

- 実践（経験）
- 採用時、必ずしも学生の発達、大学教育、理論、研究等について学んでいない
- ↓
- 理論と実践の融合について学んでいない
- 経験に基づく自己流の伝達型・教授型指導
- 自分の方法を検証・検討する機会がない。

指導教諭

- 実践（試行錯誤）
- 必ずしも自主的な業務ではない
- 価値、ステータス、報酬の保証されないボランティア
- ↓
- 経験に基づく指導
- 実習生との一過性の関係
- 大学との協働でない

教師教育者という専門的職業の確立

養成・研修の必要性

- ・ 理論と実践の融合が大学の授業の中で実現されていること

自覚の必要性

- ・ 自分でその価値を認められること

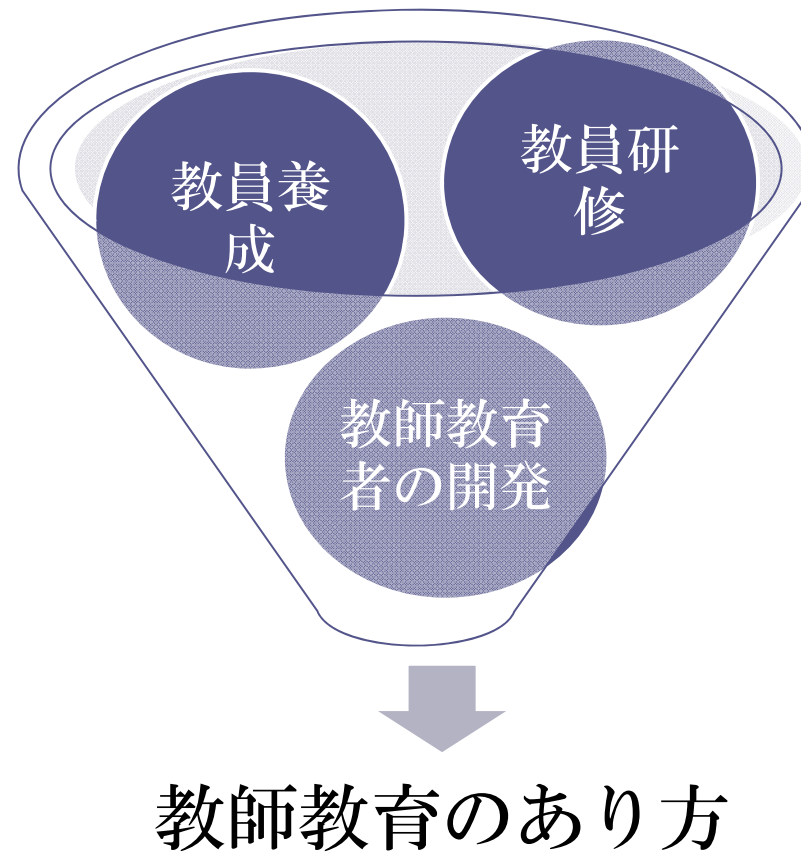
専門性・方法論の確立

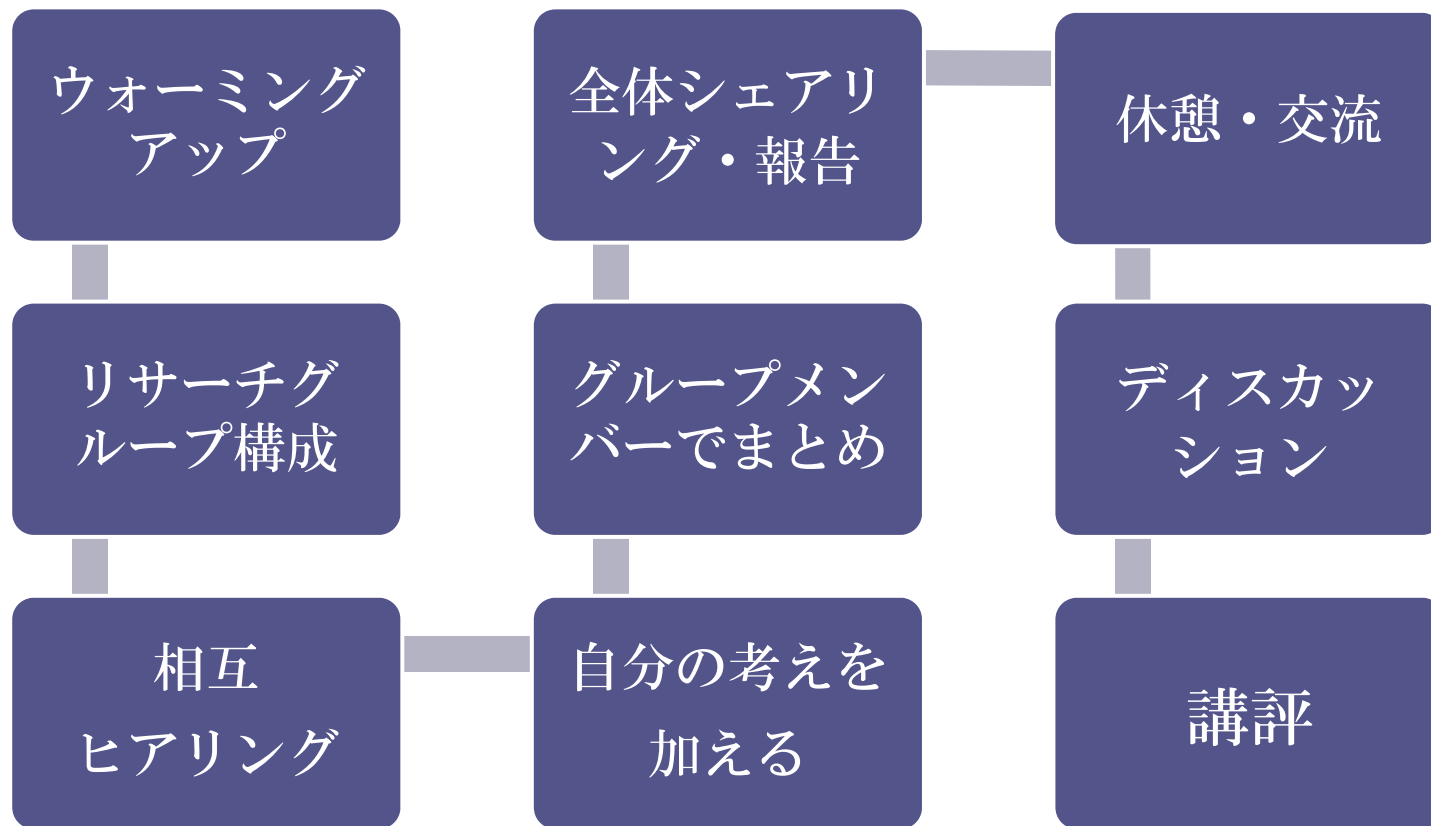
- ・ 自らの専門性を認識できること

組織化の必要性

- ・ 国際的にも国内的にもつながること

本日のリアル熟議で明らかにしたいこと





人を育てるコミュニティは？

ラーニングコミュニティ

皆がスーパー ティーチャーを めざしている	凸凹を 認めあっていく
カリスマ校長が ひっぱっていく	皆で議論しながら 創っていく
競争し合いなが ら伸びていく	多様性を大切に する

教員コミュニティ

∞

生徒コミュニティ

∞

学校コミュニティ

∞

地域コミュニティ

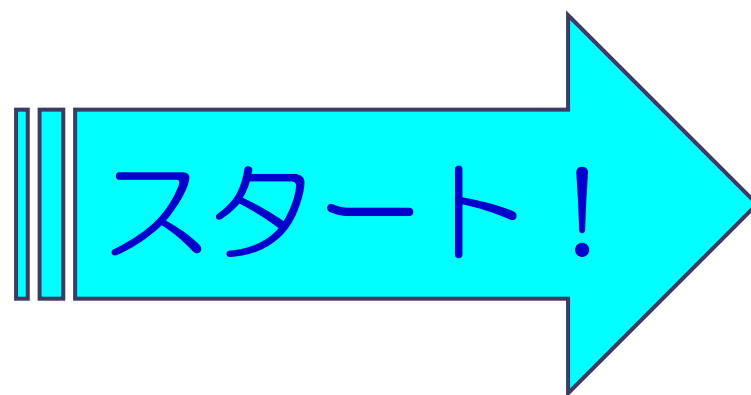
∞

大学コミュニティ

D先生の
せいで

D先生の苦手は
私たちがフォ
ローしましょう

教師教育の
リアル熟議に関する
コミュニティ



参考文献等

- 「教師教育学」F.コルトハーヘン著 武田信子監訳 学文社 2010
- 「実践コミュニティワーク」「同エクササイズ編」ビル・リー著 武田・五味共訳 学文社 2006
- 「ヨーロッパの教育事情と教師教育の動向」武田信子／坂田哲人／中田正弘／伏木久始
武蔵大学総合研究所紀要第19号, http://e-lib.lib.musashi.ac.jp/2006/archive/data/k0019-02/for_print.pdf , 2009
- 「日加比較に基づく教員養成カリキュラムの再検討」 武蔵大学教職課程研究年報 14/
11-18 , 2000
- 「育つ・つながる子育て支援 具体的な技術・態度を身につける32のリスト」 子育て支援者
コンピテンシー研究会 チャイルド本社 , 2010
- スライドNo.9 の作成にあたっては、東京学芸大学の「先導的大学改革推進委託研究」における「課程認定大学における評価団体と連携した教員養成に関するモデルカリキュラムの作成に関する調査研究」基準WGメンバーに対し、20106月27日に武田が実施した「教員養成の阻害要因と促進要因を抽出するワーク」の結果を参考にさせていただきました。